

令和元年度「学修成果に関するアンケート」実施報告書

[目的]

学生の学修成果の実感と教育課程の満足度を把握し、大学における教育効果の検証を行う。

[対象]

大妻女子大学2年生 1,717名*、4年生 1,715名*、合計 3,432名*。

*4月1日現在在学中（留学、休学の学生は原則除く）の学生のみ。

[実施時期]

4月1日、2日 クラス別ガイダンスで実施

[実施方法]

マークシートを利用し、全12問を回答する。設問内容、回答選択肢は、下記のとおり。

[実施責任者]

企画・戦略室

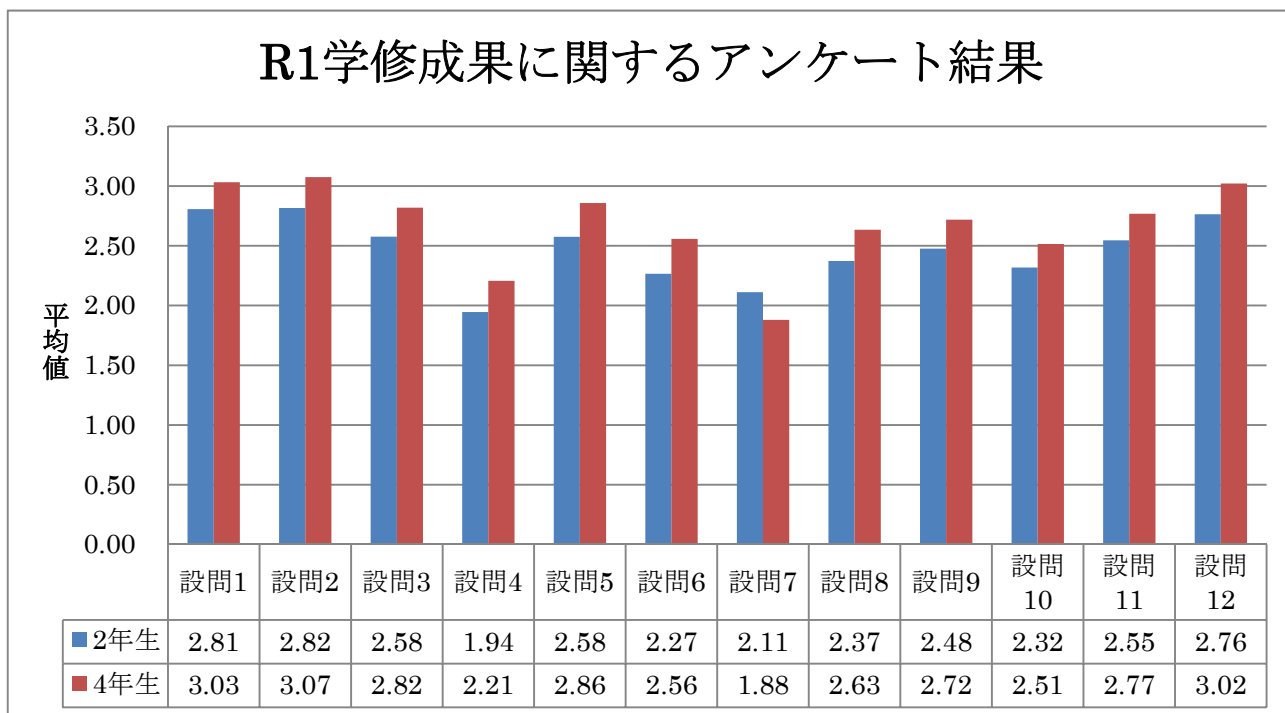
[実施結果]

全 3,432名 回答者数 3,243名（94.5%）

[設問内容、回答選択肢]

設問番号	設問内容	回答選択肢
	あなたは、入学前と比べて、本学での学びを通じ、次の能力(1～11)がどの程度身についたと思いますか。	
1	幅広い知識と教養	
2	所属する学科専攻の専門的知識	
3	情報を収集し、分析する力	
4	リーダーシップ	
5	コミュニケーション力	1：大変身についた
6	プレゼンテーション力	2：身についた
7	外国語の運用力	3：少しは身についた
8	問題を発見し解決する力	4：ほとんど変わらない
9	計画する力、そしてその計画を実行する力	
10	学びの習慣	
11	主体的に取り組む力	
12	あなたは、入学してから今までにあなた自身が学修した成果について満足していますか。	1：大変満足している 2：満足している 3：あまり満足していない 4：満足していない

<アンケート結果概要>



[設問 1] 幅広い知識と教養

[設問 2] 所属する学科専攻の専門的知識

[設問 3] 情報を収集し、分析する力

[設問 4] リーダーシップ

[設問 5] コミュニケーション力

[設問 6] プレゼンテーション力

[設問 7] 外国語の運用力

[設問 8] 問題を発見し解決する力

[設問 9] 計画する力、そしてその計画を実行する力

[設問 10] 学びの習慣

[設問 11] 主体的に取り組む力

[設問 12] あなたは、入学してから今までにあなた自身が学修した成果について満足していますか

※上記棒グラフは便宜上、回答選択肢の1を4、2を3、3を2、4を1として平均値を算出している。

※今回初めての取り組みのため、同一学生群の学修成果ではない。

<まとめ>

- ・学生の学修成果の実感について、各設問ともに2、4年生それぞれの平均値で比較すると、設問7「外国語の運用力」を除く設問で4年生の平均値の方が高く、大学における教育効果は概ね挙がっていると判断することができる。
- ・2、4年生の平均値で最も高いものは設問2「所属する学科専攻の専門的知識」、最も低いものは、2年生は設問4「リーダーシップ」、4年生は設問7「外国語の運用力」であった。また、最も学修成果を実感しているもの（2年生から4年生の伸び率が最も高いもの）は、設問6「プレゼンテーション力」であった。